

インドネシアの言葉



イファ・ヌルマサリ

出身 インドネシア

職業等 主婦

在日期間 4年4ヶ月

こんにちは。

日本では沖縄から北海道までみんな日本語を話すと聞いています。方言がありますが、意味は大体通じるようですね。

私の国インドネシアはちょっと違います。私はジャワ島で生まれました。だから、ジャワ島のことを少し話します。

ジャワ島の東では、ジャワ語を話します。同じジャワ島でも西ではスダ語を話します。これらの言葉は全然違いますから、ジャワ島の中なのに、東のジャワ人は西のスダ語がわかりません。また、同じように、西のスダ人は東のジャワ語がわかりません。

私はジャワ島の東側の出身なのでジャワ語がわかります。でも、スダ語がわかりません。私の主人はジャワ島の西側の出身なのでスダ語がわかりませんが、ジャワ語がわかりません。

私の両親が家に来て私と話したり、私が私の両親と電話で話したりするとき、私と両親はいつもジャワ語で話します。主人はジャワ語がわかりませんので、その話の中身と意味がわかりません。だから、内緒の話もできます。決してしませんけど。

このように、同じジャワ島でも東と西で言葉が違い、言葉が通じません。島が違うともっと大変です。言葉が違い、通じません。

インドネシアには島がたくさんありますから、言葉が全部で200以上あります。アチェ語、バリ語、ジャワ語、スダ語などなどがあり、通じません。これでは困りますね。

そこで、1945年、共通の言葉を決めました。それがインドネシア語です。

私の場合、学校に行くまでは毎日ジャワ語で話していました。でも、小学校に入ってからインドネシア語の勉強は始まりました。そして、小学校ではインドネシア語で勉強しました。このように家や家の近くではジャワ語で話し、学校ではインドネシア語で勉強し、話しました。このようにして私はバイリンガルになりました。

主人も同じです。主人はジャワ島の西側で生まれたので、学校に行くまではスダ語を話しました。小学校に入ってからインドネシア語の勉強が始まりました。夫もバイリンガルになりました。

小学校のころは幾つも言葉を覚えるのが大変だと思っていましたが、おかげさまで私たちは4つの言葉を持つようになりました。よかったです。

このようにインドネシアにはいろいろな言葉があります。4つの言葉も持っています。インドネシア語のおかげで、私たちはお互い通じ合い、理解できるようになりました。

インドネシアのシンボルはガルダです。ガルダには大切な意味があります。それは、いろいろな文化の違いを認め合いながら一緒に国をつくるという意味です。とても大切です。

インドネシア語もその一つの成功例だと思います。

きょうは、インドネシアの言葉について話しました。
ご清聴ありがとうございました。